

グループ等	専門部、専門委員会等	重点実施事項	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度	2024（令和6）年度
管理運営	総務	・社員総会・（常務）理事会の運営 ・暴力行為等の根絶に向けたコンプライアンス意識の醸成	・業務、所管事項の確認 ・指導者養成委員会・審判委員会等と連携して啓発推進	・業務、所管事項の継承 ・行動規範等をまとめた資料集の改版	・効率の良い運営への改善 ・過年度状況の確認及び方策の検討
	財務	・協会全体の適切な会計処理を維持	・各部・各委員会の会計担当への指導への注力	・各部・各委員会における会計処理のシステム化の推進	・各部・各委員会における会計処理のシステム化
渉外事業	渉外	・協賛企業等の積極的な開拓 ・広報活動や会報作成による情報発信の推進	・各カテゴリ事業でのスポンサーへの働きかけ ・オンラインを活用したライブ配信や会報による情報発信の体制強化	・各カテゴリ事業でのスポンサーへの働きかけ ・取組み内容の定着	・効果的な働きかけへの改善 ・効率のよい運営への改善
	事業	・Wリーグ事業の企画と運営 ・パンピナス奈良と各カテゴリとの連携事業の企画と運営 ・協賛スポンサー事業及び寄付活動等収益化事業の推進	・奈良大会開催に向けての業務分担 ・事業実施に向けての業務分担及び各カテゴリへの周知の徹底 ・継続体制の強化及び広報の充実	・各カテゴリとの連携を含めた体制の強化 ・関係部署との連携強化 ・取組み内容の定着	・効率のよい運営への改善 ・運営内容の見直しと改善 ・効率のよい運営への改善
競技運営	競技	・2031年度開催予定の国民スポーツ大会実施に向けての組織強化 ・大会運営マニュアル作成 ・競技会における重大なトラブル防止策の徹底	・2025（令和7）年開催予定の国民スポーツ大会近畿ブロック大会に向けての組織強化 ・大会競技役員育成 ・対策マニュアル作成	・2025（令和7）年開催予定の国民スポーツ大会近畿ブロック大会に向けての組織強化 ・大会競技役員育成 ・対策マニュアル作成	・2025（令和7）年開催予定の国民スポーツ大会近畿ブロック大会に向けての組織強化 ・大会競技役員育成 ・対策マニュアル作成
	T O	・全国T O委員会の活動 ・近畿T O委員会の活動 ・全国統一T Oマニュアルの共有 ・県内各カテゴリT Oの普及、育成及び強化 ・近畿ブロックT Oの普及、育成及び連携強化 ・トップリーグ担当T Oのライセンス制度導入（JBAが導入）を受けて、県TOライセンス取得者の登録推進	・各T O委員会の活動を開始 ・T Oマニュアルの活用開始 ・全国・近畿・県におけるT O研修会 ・県内各カテゴリのT O普及育成強化 ・近畿ブロックT O研修会（近畿ブロック国民体育大会で実施：京都府） 成年：近畿地区トップリーグ担当者 少年：開催府県高校生補助員	・各T O委員会の活動を ・T Oマニュアルの活用 ・全国・近畿・県におけるT O研修会 ・県内各カテゴリのT O普及育成強化 ・近畿ブロックT O研修会（近畿ブロック国民体育大会で実施：兵庫県） ・トップリーグ担当T Oライセンス制度の導入（eラーニング）	・各T O委員会の活動を ・T Oマニュアルの活用 ・全国・近畿・県におけるT O研修会 ・県内各カテゴリのT O普及育成強化 ・近畿ブロックT O研修会（近畿ブロック国民体育大会で実施：和歌山県） ・トップリーグ担当T Oライセンス制度の実施、登録者の増加
	記録報道	・協会に関する情報のWEBページへのスムーズな掲載	・協会及び加盟団体との情報のスムーズな連携	・記録報道委員会の組織強化	・WEBページへの掲載手順のマニュアル化
	審判	・審判員の登録推進（発掘・育成） ・判定基準の統一（マニュアルを作成） ・審判インストラクターの登録推進（2031年の国民スポーツ大会実施（予定）に向け組織体制強化）	・若手審判員（25歳以下）の研修会を充実 ・審判員の強化研修会を充実 ・審判インストラクターの発掘・育成	・若手審判員（25歳以下）の研修会を充実 ・審判員の強化研修会を充実 ・審判インストラクターの指導力向上のため講習会の開催方法を検討	・若手審判員（25歳以下）の研修会を充実 ・判定基準の統一 ・審判インストラクターの指導力向上のための講習会を実施
	3x3	・3x3奈良県大会の発展に努めるためにチーム及び競技者の登録推進	・3x3競技の場（イベント等）の増加	・大会運営及びチーム・競技者登録推進へ注力	・各大会運営に力を注ぎ、各カテゴリから日本選手権への進出
強化統括	国体（成年男子）	・U18世代の育成と招聘 ・地元大学（天理大学）へ協力要請 ・U16カテゴリとの連携と一貫指導体制の構築 ・コーチ陣の育成と専門性の強化	・U18世代の育成と積極的起用 ・関西圏の大学で活躍する選手の発掘 ・U16カテゴリとの連携と一貫指導体制の浸透 ・コーチ陣の育成と専門性の強化	・U18世代の育成と積極的起用 ・地元大学へ協力要請及び関西圏の大学で活躍する選手の発掘と招聘 ・U16カテゴリとの連携と一貫指導体制の浸透 ・コーチ陣の育成と専門性の強化	・U18世代の育成と積極的起用 ・地元大学へ協力要請及び関西圏の大学で活躍する選手の発掘と招聘 ・U16カテゴリとの連携と一貫指導体制の確立 ・コーチ陣の育成と専門性に特化した分業体制の構築
	国体（成年女子）	・U18世代の育成と招聘 ・地元大学（奈良学園大学と天理大学）へ協力要請及び協力企業の模索 ・U16カテゴリとの連携と一貫指導体制の構築 ・コーチ陣の育成と専門性の強化	・U18世代の選手の積極的起用 ・地元大学（奈良学園大学と天理大学）へ協力要請、関西圏の大学で活躍する選手の招聘、協力企業の模索 ・U16カテゴリとの連携と一貫指導体制の構築（少年女子との連携） ・コーチ陣の育成と専門性の強化	・U18世代の選手の積極的起用 ・地元大学（奈良学園大学と天理大学）へ協力要請、関西圏の大学で活躍する選手の招聘及び協力企業の模索 ・U16カテゴリとの連携と一貫指導体制の構築（少年女子との連携） ・コーチ陣の専門性の強化と分業体制の構築	・U18世代の選手の積極的起用 ・地元大学（奈良学園大学と天理大学）へ協力要請、関西圏の大学で活躍する選手の招聘及び協力企業の模索 ・U16カテゴリとの連携と一貫指導体制の構築（少年女子との連携） ・コーチ陣の専門性の強化と分業体制の確立
	国体（少年男子）	・U15、U16カテゴリの連携 ・U16DCを活用した育成・強化 ・U15からU18カテゴリとの連携と一貫指導体制の構築（成年男子との連携） ・コーチ陣の育成と専門性の強化	・U15、U16カテゴリの連携 ・U16DCを活用した育成及び強化 ・U15からU18カテゴリとの連携と一貫指導体制の構築（成年男子との連携） ・コーチ陣の育成と専門性の強化	・U15、U16カテゴリの連携 ・U16DCを活用した育成・強化 ・U15からU18カテゴリとの連携と一貫指導体制の構築（成年男子との連携） ・コーチ陣の専門性の強化と分業体制の構築	・U15、U16カテゴリの連携 ・U16DCを活用した育成・強化 ・U15からU18カテゴリとの連携と一貫指導体制の構築（成年男子との連携） ・コーチ陣の専門性の強化と分業体制の確立
	国体（少年女子）	・U15、U16カテゴリの連携 ・U16DCを活用した育成及び強化 ・U15からU18カテゴリとの連携と一貫指導体制の構築（成年女子との連携） ・コーチ陣の育成と専門性の強化	・U15、U16カテゴリの連携 ・U16DCを活用した育成及び強化 ・U15からU18カテゴリとの連携と一貫指導体制の構築（成年女子との連携） ・コーチ陣の育成と専門性の強化	・U15、U16カテゴリの連携 ・U16DCを活用した育成・強化 ・U15からU18カテゴリとの連携と一貫指導体制の確立（成年女子との連携） ・コーチ陣の専門性の強化と分業体制の構築	・U15、U16カテゴリの連携 ・U16DCを活用した育成・強化 ・U15からU18カテゴリとの連携と一貫指導体制の確立（成年女子との連携） ・コーチ陣の専門性の強化と分業体制の確立
	指導者養成	・ライセンスコーチの普及と促進 ・各種講習会と研修会の充実 ・女性コーチの育成	・ライセンスコーチの普及と促進（前年比100%超） ・各種講習会と研修会の充実	・ライセンスコーチの普及と促進（前年比100%超） ・女性コーチのカンファレンスの実施	・ライセンスコーチの普及と促進（前年比100%超） ・女性コーチの上級ライセンス取得への促進
	U 1 2 ユース育成	・U12育成センター事業の定着 ・U14との連携、選手の発掘及び育成 ・指導者の育成、育成マインドの定着（正しい技術の習得と楽しさを強調した指導）	・地区育成センターを拡大し選手発掘 ・普及の視点も含めた指導体制の強化 ・指導者の育成マインドの定着	・育成センター事業の定着 ・普及の視点も含めた指導体制の強化 ・指導者の育成マインドの定着 ・U14との連携	・育成センター事業の定着 ・普及の視点も含めた指導体制の強化 ・指導者の育成マインドの定着 ・U14、U16との一貫指導の構築
	U 1 4 ユース育成	・U14育成センター事業の定着 ・U12・U16との連携、一貫指導の構築 ・選手の発掘、育成及び強化 ・指導者の育成、育成マインドの定着（技術や基本の習得と自らの判断でプレーする習慣）	・育成センター事業の定着 ・普及の視点も含めた指導体制の強化 ・選手の発掘及び育成 ・指導者の育成マインドの定着	・育成センター事業の定着 ・普及の視点も含めた指導体制の強化 ・U12・U16との連携 ・指導者の育成マインドの定着	・育成センター事業の定着 ・普及の視点も含めた指導体制の強化 ・U12、U16との一貫指導の構築 ・指導者の育成マインドの定着
	U 1 6 ユース育成	・U16育成センター事業の定着 ・U12・U14との連携、一貫指導の構築 ・選手の発掘、育成及び強化 ・指導者の育成、育成マインドの定着（技術や基本の習得と自らの判断でプレーする習慣）	・育成センター事業の定着 ・普及の視点も含めた指導体制の強化 ・選手の発掘及び育成 ・指導者の育成マインドの定着	・育成センター事業の定着 ・普及の視点も含めた指導体制の強化 ・U14と育成及び強化のための一貫指導の構築 ・指導者の育成マインドの定着	・育成センター事業の定着 ・普及の視点も含めた指導体制の強化 ・U16の選手育成及び強化 ・指導者の育成マインドの定着
医科学	・競技力向上、障害予防及び体力向上のための研修会開催の検討 ・ユース育成部と連携して、本県競技者の体格、体力、スキル等のデータ収集を検討	・競技力向上、障害防止に関する研修会の実施 ・アンダーカテゴリの競技者の各種データ収集の準備	・競技力向上、障害防止に関する研修会の実施 ・アンダーカテゴリの競技者の各種データ収集の実施	・競技力向上、障害防止に関する研修会の実施 ・アンダーカテゴリの競技者の各種データ収集の実施	
アンダーカテゴリ	U 1 2	・U12チーム登録・競技者登録 各年度1チーム増、1チーム1人増 ・ターゲットエイジの普及・育成 U10大会の充実 指導者研修会の充実 普及活動促進 ・暴力・暴言の根絶 モラル向上	・61チーム→62チーム(1チーム増) ・1280人以上登録 ・小1・2年の育成 ・小1・2年(ミクロ)の交歓試合数増 ・小1・2年の育成方法(理論・実践)の検討 ・メディア、ネットを利用 ・市町村教育委員会に協力要請 ・指導者・保護者研修会(暴力・暴言の根絶)の実施	・62チーム→63チーム(1チーム増) ・1340人以上登録 ・小1・2年の育成 ・小1・2年(ミクロ)の交歓試合数増 ・小3・4年の育成方法(理論・実践)の検討 ・メディア、ネットを利用 ・市町村教育委員会に協力要請 ・指導者・保護者研修会(モラルの向上)の実施	・63チーム→64チーム(1チーム増) ・1400人以上登録 ・小3・4年の育成 ・小3・4年(フレッシュ)の交歓試合数増 ・小5・6年の育成方法(理論・実践)の検討 ・メディア、ネットを利用 ・市町村教育委員会に協力要請 ・指導者・保護者研修会(指導者と保護者との連携)の実施
	U 1 5	・U12からU16への継続指導 ・U15競技会の運営体制の確立 ・登録、移籍についての周知徹底	・U15リーグ戦、U15選手権、U15クラブ選手権及びU15クラブ新人戦の運営体制の拡充 ・中体連との協力体制の確立(奈良近畿総体に向けて)	・県協会承認大会の追加(U15奈良招待大会) ・移籍生徒の競技会参加拡充への対応	・部活支援体制の検討及びクラブチームの運営拡充
	U 1 8	・ウインターカップ予選及びリーグ戦の運営体制の確立	・県リーグの実施において課題と今後についての検討 ・近畿ブロックリーグへの対応	・近畿ブロックリーグの実施において課題と今後についての検討	・近畿ブロックリーグの実施において課題と今後についての検討
一般カテゴリ	社会人連盟	・社会人連盟のより良い運営(会議、大会運営等) ・大会の運営の検討 ・WEBページの充実	・役員等へ業務の分担、システム化(役員改選年度) ・社会人連盟内での同会場開催の検討(役員の体制作り) ・WEBページにおける問い合わせ先を一元化し、チームへ周知 ・WEBページを更新できる人材の育成	・役員等へ業務の継承、システム化 ・社会人連盟内での同会場開催(別カテゴリ〈オープン、O A、フレンドリー〉のチーム、選手の交流及び役員の体制作り) ・WEBページを更新、運営できる人材の育成	・効率良い運営へ改善(役員改選年度) ・社会人連盟内での同会場開催(別カテゴリ〈オープン、O A、フレンドリー〉のチーム、選手の交流及び大会のスムーズな運営) ・WEBページとして見やすい形に改善 ・WEBページを更新、運営できる人材の増員
	Bリーグ	・B1昇格に向けた体制整備 売上向上(3億円以上) チーム強化(B2プレイオフ進出) アリーナ建設計画推進 ・アンダーカテゴリ体制整備 U18準備(2022年4月スタート) ・ホームゲームの新型コロナウイルス感染防止対策	・B1昇格に向けた目標項目達成 売上(4億円規模) チーム強化(B2 2位以上) 集客(1500人以上) アリーナ建設計画策定 ・アンダーカテゴリ体制の充実 U18,U15,U12 コーチングスタッフの充実	・B1昇格に向けた目標項目達成 B1昇格後は、B1維持 売上(5億円以上) チーム強化(B1降格プレイオフ脱出) 集客(2500人以上)	・新B1昇格に向けた課題への取組み 売上(12億円) 集客(新アリーナで4000人以上)